

見るわたし。見られる
わたし。

祖母の三十三回忌にあたつて

朝散歩の途次、勝林寺さんの朝の掲示板に
「田は自らを見ず」

自分自身の姿が全く見えてないで、人様の事を批判したり軽蔑したりして生きているわたし。
それにもまして、人様外界のことが、正当にあるがままに見えているかというと、そうではない。

いわたし」と書いてあつた掲示に、また驚かされました。

人のこと 世間のことは、すべて私の都合
勝手で評価してしまう。実に自己中心的とい
うか身勝手というか。
私にとって都合のいい人は善人。私の勝手
気ままを通してくれない相手は悪人。
すべて世界はわたし中心、おのれ本位に動
いてほしいのです。
その世界の基軸、世の中の中心の、その肝
心の私が、それが一番見えていないのだから
困ったものだ。

あれからずつとこの事が気になつてゐた。
見ている世界は本当のものか。
見ている私は何者なのか。

「の」「ふ」と連呼したことがある。

云つてくれたことば。「おまえは本当はいい子だよ。そのことをだれが知らんでも、まあちゃんは、みんな見ている知つてるよ」

氣まま我がまま腕白な俺は、本当はおばあ

彼岸法會案内

9月23日(中旬)

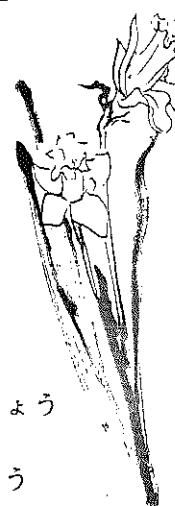
午後2時より

いのちとは

死とは

互いに考えてみましょう

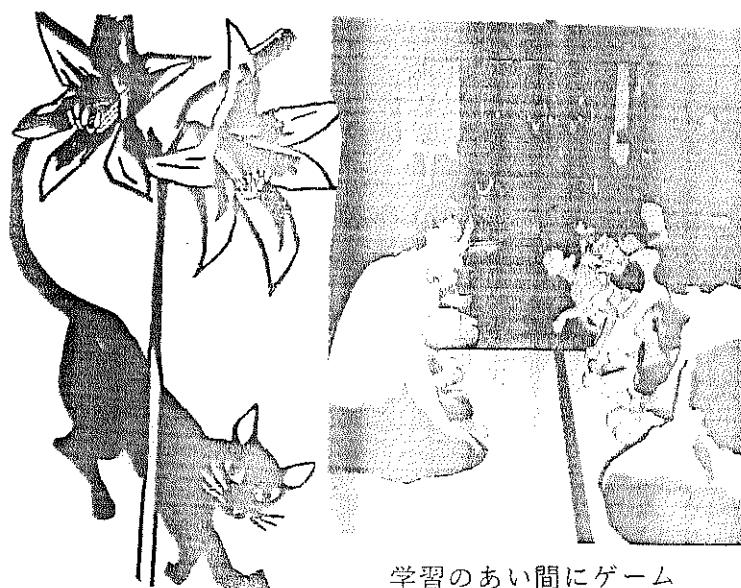
話し合ってみましょう



ちゃんのそのことばがいやで迷惑だった。
おばあちゃん以外の大人からは、「馬鹿だ
」「役立たずだ」「ごんたくれだ」と毛嫌い
されてるおれに、ばあちゃんだけはいつもそ
つと、私に囁くようにそう云つてくれた。
「ばあちゃんは知つてるよ」って。
それがいやで嫌で、「おばあちゃんなんか
あつちにいっどれ。かまつてくれるな」とい
つていた私だったのに。
ばあちゃんが死んで三〇年たつた今になつ
て、「あれはうそじやない。ばあちゃんは
、おれのことみんな見て知つてくれるん
だ」と思うようになつた。
なにもまともには見えないわたしが
実は、なにかにずっとみられていた。

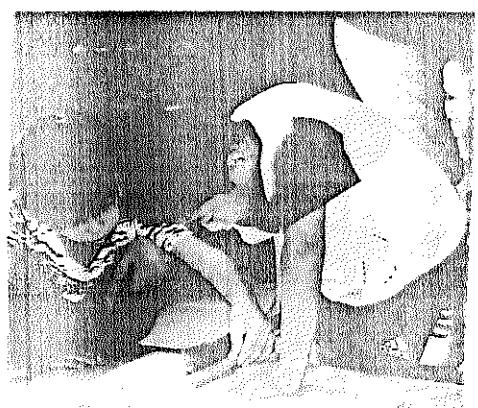
ちゃんのそのことばがいやで迷惑だった。
おばあちゃん以外の大人からは、「馬鹿だ
」「役立たずだ」「ごんたくれだ」と毛嫌い
されてるおれに、ばあちゃんだけはいつもそ
つと、私に囁くようにそう云つてくれた。
「ばあちゃんは知つてゐよ」つて。
それがいやで嫌で、「おばあちゃんなんか
あっちにいっとれ。かまつてくれるな」とい
つていた私だったのに。
ばあちゃんが死んで三〇年たつた今になつ
て、「あれはうそじやあない。ばあちゃんは
、おれのことみんな見て知つていてくれるん
だ」と思うようになつた。
なにもまともには見えないわたしが
実は、なにかに
ずっとみられていた。

問ひを好めば
則ち裕ゆがなり。
自ら用うれば
則ち小なり。 (書經)
多弁饒舌
行わす一て責めるなけれ
自ら実に踐すべし
共に慎むべし。



学習のあい間にゲーム

こども研修会



必死な挑戦

も楽しかったです。ありがとうございました。一番楽しかったのは、広告で鶴を折ったことでした。鶴はなかなかうまく折れたので、学校の夏休みの自由工作に出来そうとおもいます。スタンプラリーでは道をまちがえただけどお菓子をいっぱいもらえたのでよかったです。行けたら来年も行きたいなと思います。（枚方西上希美） ☆昨日はありがとうございました。お昼に自分でおそばをつくつて細く切るのが大変だったけど、食べたらとてもおいしかったです。それから白鳥はむずかしかったけど、家に持つてかえったらみんなにほめてもらいました。来年もよろしくお願ひします。（坪口 坂本このみ） ☆勝林寺の子ども会に行かせてもらいました。とても楽しかったので来年もよろしくお願ひします。来年も楽しい工作お願ひします。そばうちも初めてでドキドキしたけど、よかったです。ありがとうございました。（出石 龜井満理奈） ☆こどもかいたのしかったです。つるがむずかしかったけどできました。ありがとうございました。（亀井ゆりな）